

研究の成果と課題について

長崎市立西坂小学校

1 成果について

(1) 「よくわかり、楽しみながら、英語に慣れ親しむ子ども」の育成のために

①西坂スタイルの構築

	低学年 ハローイングリッシュ (HRT・ALT) 中学年 外国語活動 (HRT・EEI)	高学年 外国語科 (HRT・ALT)
Warming up	○あいさつ ○歌など ○ティーチャーズトーク ※ 低学年、中学年では、HRTとALT (EEI) との会話を聞くことで、自然な英会話に慣れ親しむ。 ALT (EEI) 主導	○あいさつ ○言葉遊びなど ○スモールトーク ※ ALTの話を「聞く」活動を主とする。 ○ペアトーク (1分程度) ※ これまでの既習の表現を使って、ペアトークを行う。 ALT 主導
Activity	○めあて・Today's Point ○練習 HRT 主導 (発音 ALT・EEI)	○デモンストレーション・スキット ※めあてに気付かせる ○めあて・Today's Point ○練習 HRT 主導 (発音 ALT)
	○アクティビティなど HRT 主導 (発音 ALT・EEI)	○アクティビティなど HRT 主導 (発音 ALT)
Looking back	○ふり返し ○あいさつ HRT・ALT (EEI)	○英文の書き写し ※ アルファベットをなぞる。音声で十分に慣れ親しんだ語彙をなぞったり、例や選択肢の中から語彙を選んで書き写したりする活動を行う。 ○ふり返し ※めあてを意識して ○あいさつ HRT・ALT

上記のような「西坂スタイル」の学習過程にそって授業を行うことで、授業者や学年が変わっても、児童はスムーズに外国語の学習に臨むことができた。また、担任や ALT、EEI の役割を明確にしておくことで、それぞれのよさを生かした指導や評価を行うことができた。

②「楽しさリスト」の作成

本校では、「楽しさの質」にこだわって授業改善を行った。児童がどのような楽しさを感じているのかを、児童へのアンケートや振り返りシート、授業中の児童の様子から洗い出し、3つの資質能力ごとに分類してリストに整理した。

2年目からは、振り返りシートを用いて「楽しさ」についての自己評価を児童に行わせることで、楽しさについての検証を行うとともに、授業の改善にも役立てることができた。

【楽しさリスト】

番号	期待できる楽しさ	資質能力との関わり
①	外国の言葉や文化を知る楽しさ	知識及び技能
②	英語での表現が分かる楽しさ	
③	活動そのものの楽しさ	
④	自己決定ができる楽しさ	思考力、判断力、表現力等
⑤	自分のことを表現できる楽しさ	
⑥	相手のことが分かる楽しさ	学びに向かう力、人間性等
⑦	友達や教師に認められたり褒められたりする楽しさ	
⑧	友達や担任・ALT・EEI と関われる楽しさ	
⑨	他教科での学びが生きる楽しさ	
⑩	英語での学びが生活に生かされる楽しさ	

(2) 「よく考え、自分の考えや気持ちを積極的に伝え合う子ども」の育成のために

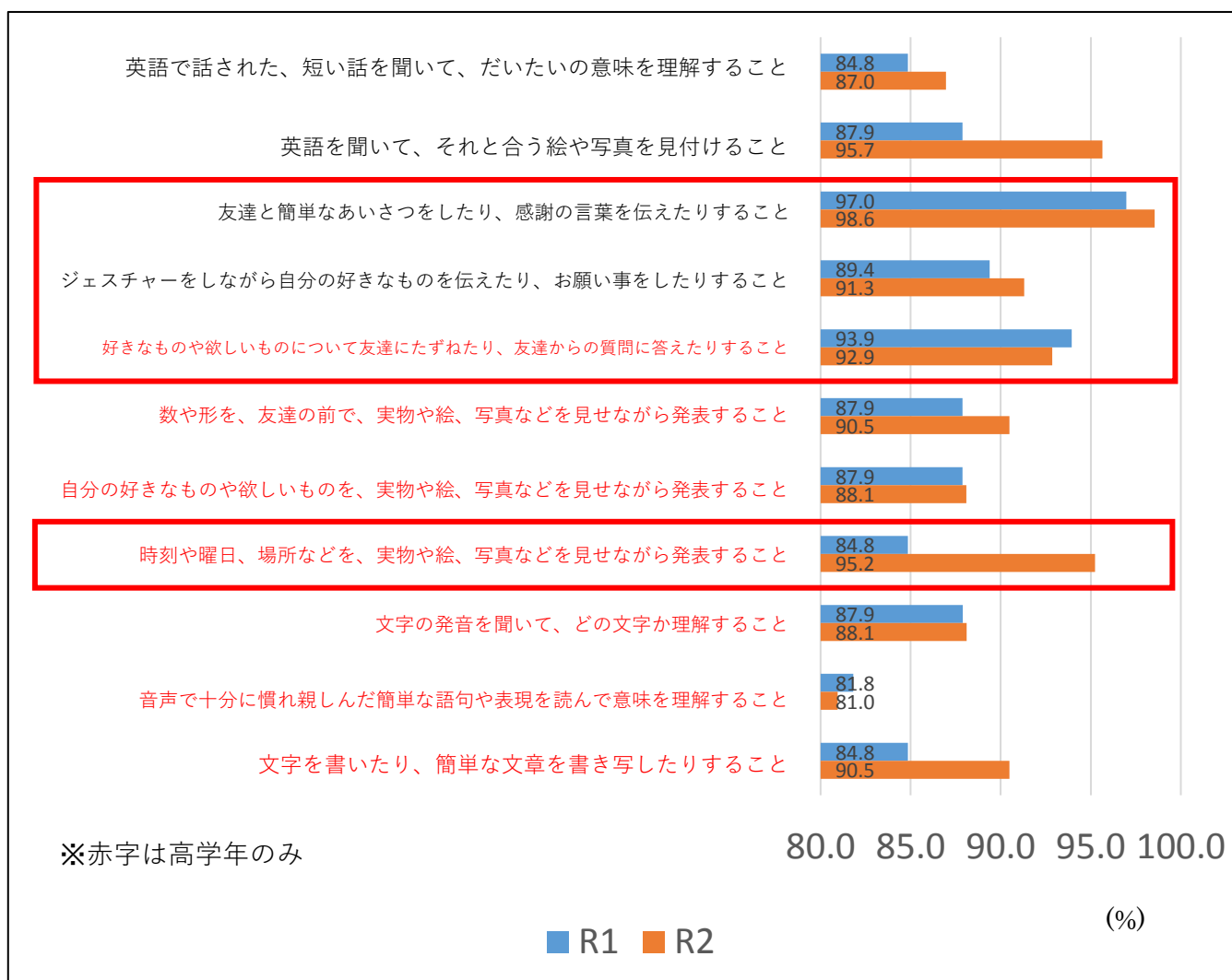
① 「言語活動の充実」

目的	西坂マルシェで友達が喜ぶオリジナルプレートを作ろう。
場面、状況	友達の好きな食べ物を尋ねて欲しい食べ物をプレートに集める。
考えや気持ちを伝え合う要素	友達の好きなものをインタビューし、分かったことをもとにして、西坂マルシェで食べ物を集めていく。
その他	欲しい物を尋ねる表現を知るために、絵カードやデジタル教材を活用する。

※4年生 Let's Try2 Unit7 "What do you want?" 外国語活動学習指導案より

授業の中で、児童が自分の考えや気持ちを伝え合う場面を必ず設定し、言語活動の充実を図った。指導案の中に言語活動の目的や場面、状況を表にまとめることで、授業者が意識的に言語活動を取り入れることができたり、授業後の研究会等で今回仕組んだ言語活動が適切であったかを検証したりすることができた。

Q.外国語の学習で得意なことはありますか。(中・高学年のみ回答)



児童へのアンケートからは、自分の考えや気持ちを伝える項目に「とても得意」「得意」と回答した児童が9割を超えていた。毎単元の言語活動の充実に向けた授業改善への取組の成果が見られた。

(3)「異文化への理解を深め、相手や他者に配慮しながら、主体的に関わり合える子ども」の育成のために

①西坂小学校独自の取組

ハローデー (Hello Day)

- 【目的】 英語に親しみ、日常生活の中でも気軽に英語を話す機会をもつ。
英語を積極的に使おうとする日を設定し、英語によるコミュニケーションを意識させる。
- 【実施日】 毎週火曜日
- 【方法】 外国語活動の内容を学習する (Hello English、外国語活動)、日常のあいさつ等を英語で行う、簡単な指示を英語で行う (クラスルームイングリッシュ)、放送で英語の歌を流す (放送委員会)、ALT、EET と積極的に会話する (給食時、休み時間等)、朝の会で「今月の英語の歌」を歌う、朝の会・帰りの会を英語で行う (高学年のみ) など。

EEタイム (Enjoy English Time)

- 【目的】 全校児童が体育館に集まったり、テレビ会議システムを利用したりして ALT の先生と一緒に英語の歌やゲームを楽しみながら英語に親しむ。
- 【内容】 年間計画に応じて、歌、簡単な英語の単語を用いたゲーム、チャンツ等を行う。
- 【方法】 月毎に担当者が輪番で進行を行う。
活動は全体で一斉に行ったり、ペアでやり取りをしたり、縦割り班で行ったりする。

学期	月	題材内容	担当	テーマ・歌	取り扱う表現	主な語彙
3 学 期	1	学習用具	特支担任	学習用具の名前に慣れ親しもう ♪ Do Re Mi ○○ (学習用具) は持っていますか。	Do you have a pen? Yes. / No.	desk / chair / pen / pencil / book / eraser / notebook / textbook / pencil case / ruler / glue / blackboard / scissors / stapler
	2	形、これまでに学習した言葉	6年担任	クイズ大会をしよう ♪ Skidamarink	What's this?	形 (square、 / rectangle / heart / star / diamond)
	3	将来の夢	5年担任	職業の表現に慣れ親しもう ♪ Do You Know the Astronaut 何(職業)になりたいのですか。	What do you want to be? I want to be a teacher.	astronaut / doctor / cook / fire fighter / florist / police officer / singer

※EE タイム年間計画 (3学期)

その他

名称	スペシャルハローデー	留学生との交流	西坂フェスティバル
時期	1学期 (6月)	2学期 (10月)	3学期 (2月)
内容	数名の ALT を招待しスポーツやゲームなどを通して交流する。 (高島小学校の児童も参加)	大学や専門学校等に在籍する外国人留学生を招待し、学校や長崎の紹介をしたり、スポーツやゲームを楽しんだりして、交流する。 (高島小学校の児童も参加)	外国語活動や外国語科、その他の教科で学習したことをもとにして創り上げた、英語劇や研究発表、音楽などを発表する。

(4) 「インクルーシブ教育システムの構築を視野に」

本校には特別支援学級が4学級設置されており、自閉症・情緒障害学級(5年生)は外国語科学習を交流学級と一緒に学習をしている。知的障害学級(1・6年生)・難聴学級(2年生)・弱視学級(3年生)の児童は、今年度、以下に示した外国語活動を、3学級合同で行った。児童はこれらの活動を通して、外国語学習の楽しさを感じることができていた。授業の中で明らかとなった効果的な支援策等を通常学級での指導にもいかし、みんなが共に学ぶ外国語活動の実現を図ることができた。

・特別支援学級の「Morning Meeting」

「Morning Meeting」は、以下の進行表を用いながら英語で行っている。

特別支援学級の児童は、何度も繰り返し聞いたり話したりすることで、内容を理解することができるようになる。進行表を使って見通しを持たせたり、ぬいぐるみのやり取りを通して相手意識を感じさせたりしながら、英語に慣れ親しませ外国語学習の楽しさを感じさせたい。

1	Stand up, please.	7	What's the date today?
2	Good morning.	8	What day is it today?
3	Let's start morning meeting.	9	How's the weather today?
4	Today's leader is ○○	10	How are you?
5	Let's sing a song.	11	Teacher's talk.
6	Sit down, please.	12	That's all for the morning meeting.

・特別支援学級の「Hello English」

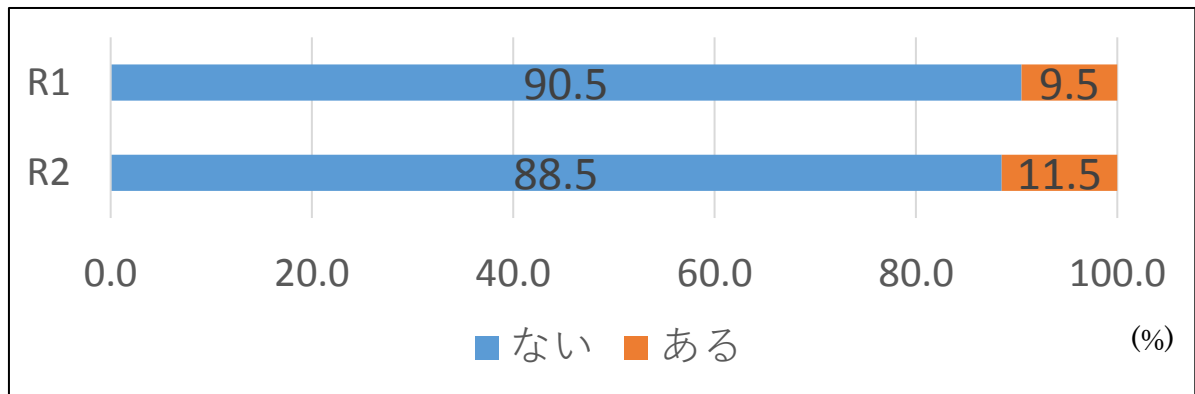
「Hello English」の学習内容は、低学年の「Hello English」や学校全体で行う「EE タイム」の活動内容を取り入れながら、個に応じた内容にしている。また、半具体物やICT教材、視聴覚教材などを使うことで、より実感のある楽しめる活動となるように工夫している。

期待できる楽しさ	楽しさを感じさせるための工夫	活動内容
英語での表現がわかる楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> 大勢の前では消極的になりやすいので、少人数での学習の場を設定して、積極的に聞いたり話したりできるようにする。 体を動かしたりごっこ遊びをしたりすることを好むため、このような活動を取り入れて楽しく学習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数(5人)でALTと担任と一緒に学習をする。 「Genki-English」のDVDを使い、歌やゲームをして簡単な英語表現を何度も繰り返し聞く。
自分のことを表現できる楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> 発声するのは苦手だが伝えたい気持ちは十分もっているため、おもちゃや絵カードなどの具体物を使いながら英語でのやり取りを楽しむことができるようにする。 ICT機器を使って動画を見ることに興味や意欲を示すので、既存の教材を活用したり児童自身を撮影したりすることにより意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 果物のおもちゃを使ってお店屋さんごっこをし、英語でやり取りを楽しむ。 「EE タイム」の「ライオンTV」の様子を再現して、ユーチューバーになったつもりで英語を使った簡単なやり取りをする。
友達や担任・ALT・EEIと関われる楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の活動をより円滑に意欲的に自信を持って取り組むことができるように、事前に練習を行い、安心して参加できるようにさせる。 人と関わりたいと思っても消極的になる部分があるため、意図的にそのような場を設定し、多くの人と関わらせて会話を楽しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「EE タイム」や授業での活動を事前に行い練習をする。 ALTや担任と1対1で会話をする。また、担任が交替することにより、より多くの人との関わりを目指す。

2 今後の課題について

(1) 「楽しさ」を味わう授業実践について

Q3.外国語の学習が楽しくないと感じることがありますか。



[あると回答した児童の主な理由]

【授業改善】に関わること

- [聞くこと]
- 言っていることがわからないとき
- [話すこと]
- 英語での言い方がわからないとき
 - 発音があまりでできなかったとき

【学級経営】に関わること

- 自信があるときに手を挙げても当たらないとき
- 失敗したとき、友達に何か言われるとき
- ゲームのルールを友達が守らないとき
- 悲しいとき
- 嫌なことがあったとき

- 少数ではあるが、外国語の学習を楽しくないと感じている児童がいる。その児童の困り感を明らかにし、分析することから、改善に向けた手立てを継続して講じていく必要がある。
- 楽しさを味わうために、特に高学年では、知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成が大切である。また、学級の雰囲気や支持的風土を醸成するための学級経営が重要である。

(2) 「言語活動」の充実について

- 言語活動の中で、児童の興味関心が広がるにつれて、難しい単語や、まだ児童が音声で慣れ親しんでいない単語が出てくることがある。その際は、別の易しい単語で表現したり、絵や図、写真などを用いたりして、何とかして伝えようとする児童の育成に今後も力を入れていく。高学年は視聴覚教材を用いて自ら補助資料を作成することも可能なので計画的に指導していく。

(3) 特別支援学級の取組について

- 学習内容は、児童の実態や興味に合わせ、低学年の「Hello English」を参考にし、EE タイムや行事、教科等に合わせて構想する。そして、楽しさの視点を取り入れることにより、英語により親しみを感じさせ、楽しみながら活動できるようにしたい。
- 「Morning Meeting」では、児童の学習経験や必要感などにより、定型文以外にも、慣れ親しませることができるような内容も考えてみたい。